

さらなる高みを目指して 医療の安全を追求する 日頃の改善活動



「国立病院機構（以下、NHO）では、医療安全に関するさまざまな活動に取り組むことで、“医療の質の向上”に努めています。医療の質の向上には最先端医療だけではなく、日々の業務の中での改善活動も含まれています。今回はそのような継続的な改善活動から、2つの事例をご紹介します。

■ Case 1 あわら病院

福井県北端に位置するあわら病院は、周囲4キロメートル圏内には他の医療機関がない地域にあります。それだけに高齢者医療にも早くから取り組み、種類や量が多くなる高齢者の薬の問題は同院が取り組むべき課題のひとつでした。

■ Case 2 宮崎病院

東日本大震災の記憶を胸にしつつ、日頃から医療の安全を高める活動に努力している病院があります。宮城県南部の沿岸部にある宮城病院はその一つで、患者さんの安全をより確かなものにするため、MRI検査での金属類持ち込みゼロに挑戦しました。